

娼婦のお姉さんに誘われて

巨乳美女と
溺れる
甘美な快樂

キミは全部……
私に任せて♡

降りしきる雨の中
俺は酒場の男たちに
聞いた娼館に向かう

だが、間違った道を
教えられたのか
一向に着かない

そんな時、一人の
女に出会った――

その娼館は
真逆だねえ

でもキミは
幸運だよ――



だって、キミの
お目当てだっていう
ナンバーワン娼婦は

私だからね♡

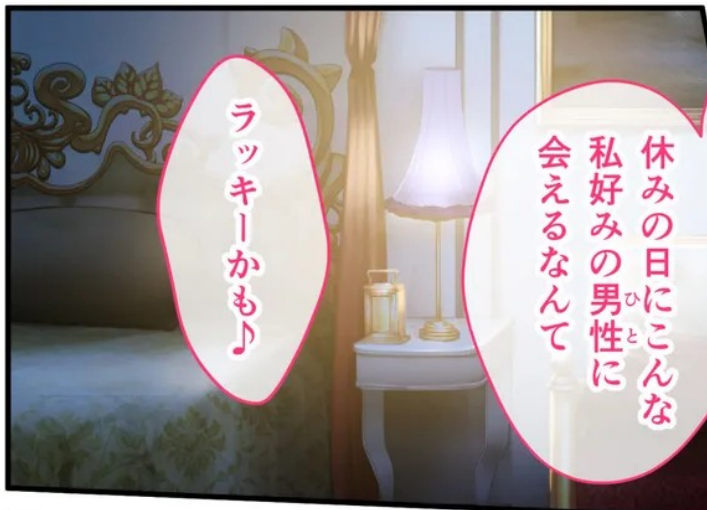
私はフイーネ

この娼館の
ナンバーワンの
娼婦だよ♡

俺はグランツだ

おっけー
グランツ君ね





ラッキーかも♪

休みの日にこんな
好みの男性に
会えるなんて



ズン

いっぱい溜まってる
オスの匂い……

ズン

ズン

はあ、すご

ご♡



やっぱりねえ♡

れん

れん

うぐううっ
だったら加減して
くれても……っ

ズン

グランツ君
もしかしてこういうの
あんまり慣れてない？



ナンバーワンのテク
たっぷり味わわせて
あげるから♡

キミは全部……
んれう、私に任せて

トク



フィーネさん
もう無理だからっ
一旦休ませて！



ちよっ、と……

うあ……
フィーネさんっ

そんな奥までっ



他に出したいところ
あるでしょ？

お口でもいいけど
どうせならさ

はい、ストップ

くおっ、出っ——

ビクッ



もう準備
できてるから
……おいで?

お射○我慢できた
ご褒美に……♡

はい♡

ビクッ

ビクッ

トサ…



焦らないで
ゆっくり……

言う通りに
動いてみよっか♡

ほーら、ゆっくり
腰を後ろに……



んばああ

ビクッ



ん……っ
全部入った♡

ビクッ

ビクッ



ん、んっ……
いい感じっ

ちゃんと
気持ち良く
出来るよ

想像より……
気持ちいいかもっ



俺の先っぽが……
フィーネさんの穴の
一番奥に当たって

ヌルヌルって
こすれて——っ

あ、ああ……



ナカでキミのが
どうなってるか
教えてほしいな♥

口に出すと
もっと気持ち良
くなるから……っ



一突きする度に
頭の中真っ白で

このまま死んでも
いいってくらい
気持ち良いっ

もう、お世辞でも
あまり椰揄からかっちゃ
だめだよお♥

こんなに優しくして
気持ち良くなれる
なんて……

今日フィーネさんと
会えて本当によかった

そんな真剣な顔で
言われたらあ
ズルすぎるよお♡

フィーネさん
俺もう……っ

ズル
ズル
ズル

ズル
ズル
ズル

ズル

びゆくびゆく
全然止まらないね

お腹の中、いっぱいになっちゃってる……♡

いい子いい子
よく頑張ったね

いっぱい出せて
偉いね……♡

ズル
ズル
ズル

翌日・酒場にて

は？ナンバーワン
じゃない、だと？

男たちによると

件の嬢は銀髪ではなく

サファイアのような
深い青だそうだ

俺は再び娼館に訪れた

あれ、グランツ君
今日も来たんだ

フィーネさん
どういうつもりだ？

気持ち良かった
でしょ？

あの時間はナンバーワンと
交わっていると信じて
気持ち良くなれたんだから

どう、って……
ああ、バレちゃった？
そんな怒らないでよ

とにかく、今日は
あんたを指名する
気はない！

ふーん、今度こそ
あの子を指名
できたんだ

それじゃお隣
失礼しまーす♥



おいっ!!
なにしてっ

あの子を
待つんでしょ?

昨日のほんの
お詫びの気持ち

待ち時間の
お触りくらいなら
当たり前だからね



ちょっ
こんな所でっ

もちろん、間違っても
君が射○しちゃったり
なんかしななければ、ね



もうこんなに
おつきくなつて

苦しそうじゃん

うく……っ

あ、そうだ
言い忘れてたけど

ホッ



うちのナンバーワンは
一制限なんだよね

一回の指名につき
一回の射○まで
ってことね

こんなに昂つてると
挿れた途端に出しちゃう
かもね……♡

それか、もしかしたら
挿入前に暴発とか

お前、まさか
それを狙って……っ



せっかくの
ナンバーワン

全然楽しめないで
終わりになっちゃう

私なら、このまま
イかせてあげて

もちろんこの後の
お部屋でもたっぷり
シてあげるのに♡



分かった！
分かったからっ

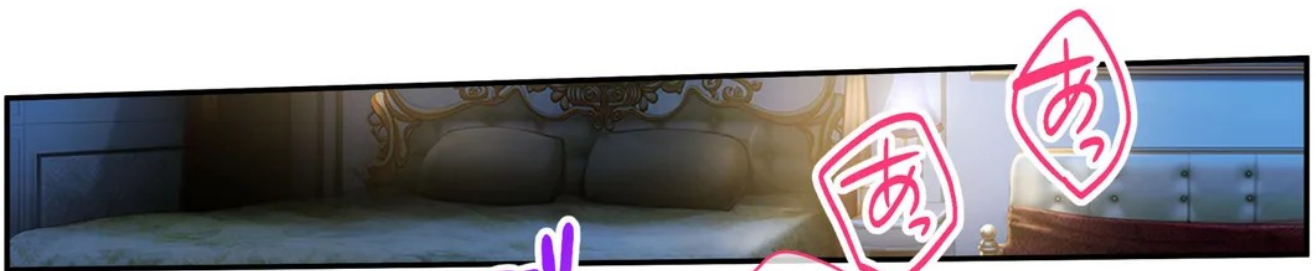
指名すれば
いいんだろ!?

よろしい♪
じゃあ約束通り

一回スツキリ
しちゃおっか♡

くうっああっ

出るッッ!!





ズグッ

今日は、私が
グランツ君を
一方的にする日

女を選べると思い上がってる
この傲慢なモノを、私が
徹底的に搾り尽くす日♥

ズグッ
ズグッ
ズグッ



ズグッ

ズグッ

根元の辺りを
思いつきり
締めつけたの

こうされると
出せないでしょ？

ぐあつ、なんでっ
もう出るのにな

出せないでしょ？

ズグッ
ズグッ
ズグッ

ズグッ



タギ

もっと踏ん張って
もっと楽しませてっ

どれだけ気持ちよく
なれるんだろうね♥

演技エッチでも
あれだけ気持ち
良かった訳だし

本気の私がキミを
犯○尽くそうと
しちゃったら……

ズグッ

ズグッ

ズグッ

ズグッ

ズグッ

タギ

数日後、娼館を訪れた
俺の目に、男と言い争う
フィーネの姿があった

黒服を抱きこみ
クスリを飲ませられ
乱暴にやられたとか

そんな彼女にデートに
誘われて、俺は街に
来ていた

見てグラントツ君
街がキラキラ

あとグワングワン
まわってる

もしかして
まだクスリ――

わかってるから
今は楽しませて？

……ああ

ありがと♪
でもいいかな

娼婦になんか
優しくしても
得は無いしさ

あ、グラントツ君
見てあの服っ

あはは、なーに
あの変な服

いい素材なのに
すっごく派手

どこかのお貴族様が
着てそうだな

ねえ、これどう？
私の雰囲気
ピッタリじゃない？

ああ、似合ってる
買ってやろうか？



なあ、下半身が
スースーして
落ち着かないんだが

大丈夫、大丈夫

動いてれば勝手に
寒くなくなるよ



ほら、さつきみたく
痕が残るくらい
激しくしても—

って、それはキミ
じゃないっけ……

おいつ、あんまり
大きな声を出すな

衛兵とかに
バレちまう
だろっ



えへへー、その時はあ
その人達とも一緒に
やれば気持ちいいよお♥

強引なの
好きいっ!



いいよお、イイっ
もっとお仕置きしてえっ

そうやって
もっど激しくっ

乱暴に腕
掴んでえ!

お望み通りに
やってやるよ!



ああっ、これえ♥
これこれこれえっ!

イヤなのにい!
目がチカチカって
してえっ♥

気持ちいいのおっ♥



無理やり、メスの
本性刺激されて
来ちゃうううっ

ナカ、とろとろで
溶けるみたいだっ

一緒に溶けちゃお?

キミの上書きして♥
消えないくらい
刻み込んでえ——っ



その後、落ち着いた彼女はクスリを使った男について話してくれた――

件の男、ラドロンは金持ち商人のドラ息子

俺と会うひと月前にフイーネを身請けすると突然言い出したらしい

今月末までに一人でも客を取れたら身請けをひと月待つと言われ

俺は男との賭けに勝つため駒にされたということだが

俺は彼女らしいなとその強かさに納得した

ちゅぷっ

あっ♡
うん、だから

じゅるっ

ラドロンは私へのっ
キミの指名を取り消させ
ようとしてくるはずっ

あっ、そこ……♡

ぢゅるるるっ

そこいらっ♡



ドンっ

パンパンっ

以降は指名を
変更できないけど

指名の取消と
変更ができるの

初回を除いて
四回目の訪問までは



取消制度……
なんてのが

あるのか、むぐっ

ぢゅるるっ

はぶっ



つまり、今日と
あともう一回までは

無理やり指名を
取り消させようと
思えば、んぶっ

できるってことか

しゅるっ

あっ

んっ♡



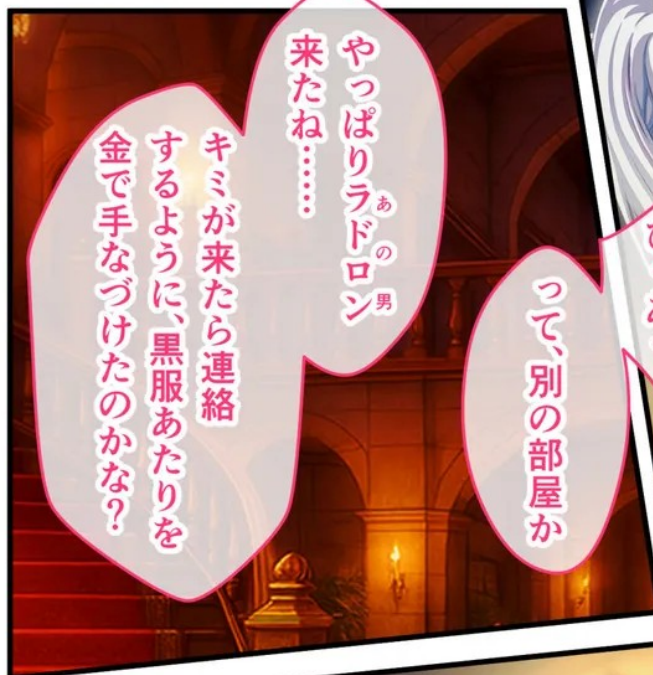
ファイーネえ!
来てやったぞツ

ひゃあッ

って、別の部屋か

やっぱりラド^あの^男
来たね……

キミが来たら連絡
するように、黒服あたりを
金で手なづけたのかな?



ここかあツ
ファイーネえ!

いいから
キミはこっちに
集中してっ♡

おいッ
どうすんだ!?

ったく……



そそるんだよね

これはこれで
なんかくるっっていうか

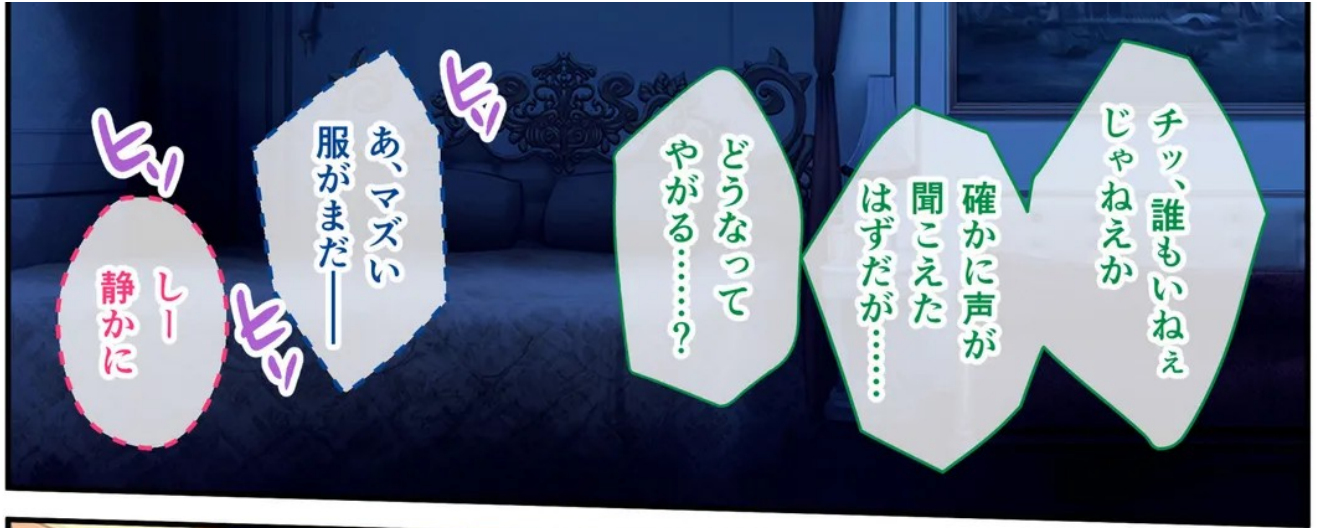
テクもなにもない男が
ひたすら頑張ってる
この感じ……っ

ああ、これえ♪

ぢゅる
ぢゅる
ぢゅる

ぢゅる
ぢゅる





チツ、誰もいねえ
じゃねえか

確かに声が
聞こえた
はずだが……

どうなって
やがる……？

あ、マズい
服がまだ――

シュー
静かに



ちゃーんと
ベッドの下に
押し込んであるよ

それより私たちは
扉の裏にいるだけ
なんだからさ

なるべく声も
出しちゃダメだよ

そう言いながら
腰を押し付けるな！

クッ
クッ
クッ

アキ……



だって、さっきキミに
してもらっただけじゃ

全然満足できて
ないんだもん♪

あんたホント
ビビらないのな

こういう状況
だからかもね

ほら、挿れるよ♡

ぐに♡



あんっ♡
ナカでビクビク
跳ねてるう♡

声出しちゃ
だめだよー？



んっ♡
かったいの
きたああ♡



大丈夫
わかってる
ってば♡

そんなに喋るなよ
あいつに聞こえるぞ

ゆっくりなの
すっごくいいっ♡

あはっ、絶対バレちゃ
ダメな状況でするの
すっごくいい♡



キミも気持ち
よかったー

……いった
みたいね



チッ、ここにも
いねえか……

フィーネのやつ
どこにいるんだ



あーっ

ゴリゴリって
思いっきり
かき回されてえ

ズン

ゴリゴリ
かき回されてえ

全部だし
ちんぽ

ズン
ズン



んはあ
ああ

ズン
ズン
ズン
ズン



チカあ、うう

射のたまんな

キミの
執の

お腹
に
チカあ、うう

バレてはいけない状況で
溜めに溜めた精〇を
俺は思いっきりぶちまけた

ズン

ズン

ズン
ズン
ズン

今日はフィーネを
指名して四回目の日

つまり指名取消しの
期間が終わり、フィーネは
客をとれたことになる

って、ここ客が入って
良い場所なのか？

今日は特別よ

ラドロンの手下は私が
キミとオプシオンで
外出してると思って

外をうろついて
いるんだから



それで、この
格好は……？

むんぐんぐん

似合ってるでしょ♪

去年のお祭り
来てたバニー衣装よ

って、やあん♥
おっぱい揉み
まくっちゃってえ

我慢できない？

いいわよ♥
もう挿れてー

あん、もう
せっかちなね

せっかく着たのに
もう脱がすの？

もみもみもみ

もみもみ

ぐんぐん



ヒトの性器をケダモノ
みたいに言わないでよ

ちよつとー



ナカきつっ！
食いちぎられ
そうだっ

硬いのっ
入ってきたあ♥



どれだけでも
突きまくれる
感じがするよっ

ってか、今日は
キミのがおつき
すぎるんだからね

なーに？、そんなに
このバニー衣装が
いいんだ？

もめっ
もめっ



そっか、そりゃ
フイーネさんに
ぴったりだなっ

これ着てる女も
うさぎみたいに年中
発情中ですー、って

言ってるような
ものだよねー♥

バニー衣装って
うさぎが年中発情期
だからなんだって

もめっ♥

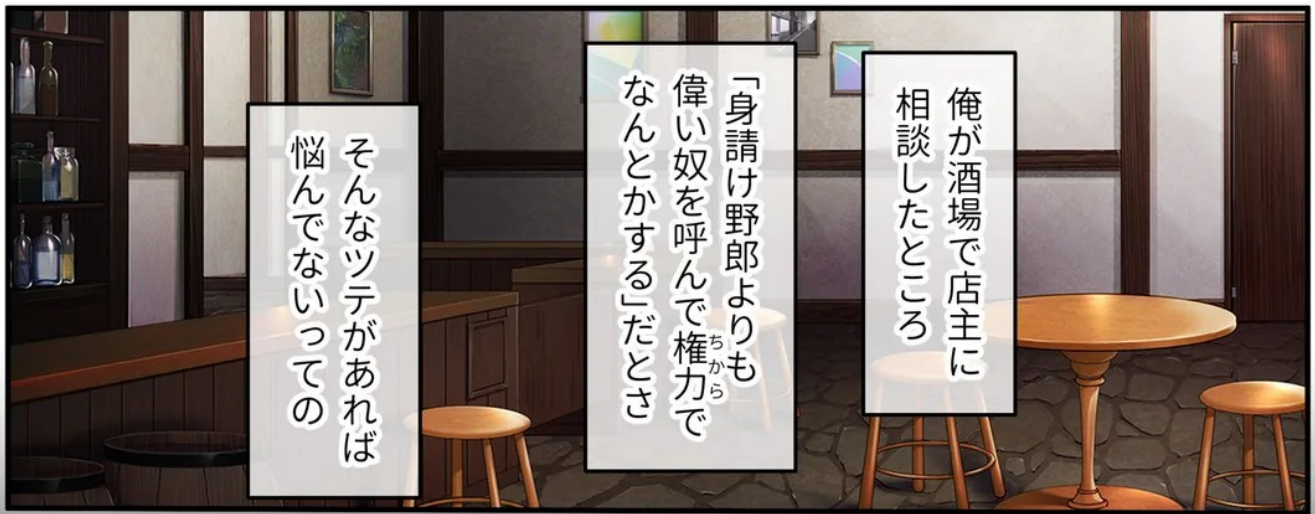


バニー衣装での事後
ラドロンはフィーネとの
賭けを無効にし

三日後に身請けを
すると宣言した

俺は反抗したが、すでに
店側とも話が付いている
ため黙るほかなかった

俺はフィーネさんに
空元気のように明るく
お別れを言われた――



俺が酒場で店主に
相談したところ

「身請け野郎よりも
偉い奴を呼んで権力ちからで
なんとかする」だとさ

そんなツテがあれば
悩んでないっての



……ちやま
坊ちやま……

制服のまま横になっては
シワが出来てしまいますよ

わかったよ
脱げばいいんだろ？

いえ、これもメイドの
仕事ですので――

そういうと、~~その~~は
いつもの手つきで
下着ごと脱がした

いや、なんで下着まで
脱がしてるんだよ！

こんなに大きく
してしまわれた
のですから

むにゅ

今日は胸で奉仕
いたしますね♡

そもそもこんな
エロいメイド
家にいたっけ？

みっちりと脂肪の
詰まった柔らかい
胸に包まれる感触で

ご存分に出して
くださいませ♪

少しの違和感と共に
絶頂へと昇りつめる

中で膨らんで
まいりましたね

そろそろで
ございませうか

うああ……っ

おませの胸に
欲望の証をぶちまけ
ようとした瞬間――



——あれ、この
ネックレス……

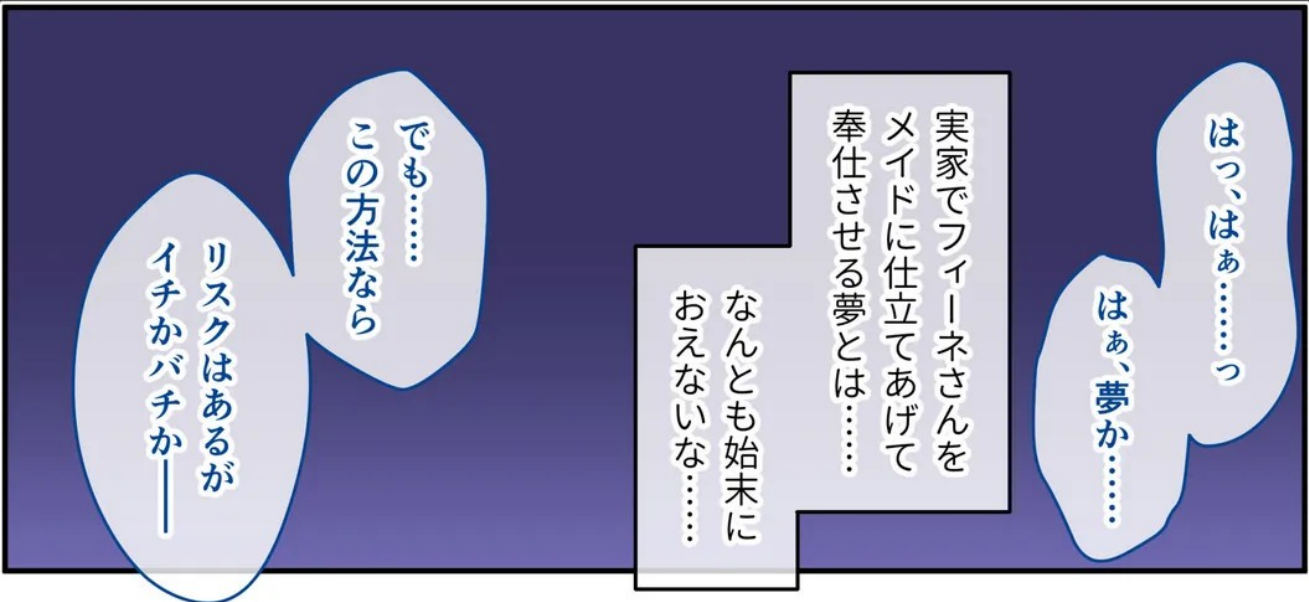
前からそんなの
つけてたっけ？



何言ってるの？

これ、君が買って
くれたんじゃない♪

——
ツ



はっ、はあ……っ
はあ、夢か……

実家でフィーネさんを
メイドに仕立てあげて
奉仕させる夢とは……

なんとも始末に
おえないな……

でも……
この方法なら

リスクはあるが
イチかバチか——

俺はいつかの露天商に
行き、あの派手な衣装を
頭から足まで購入した

娼館を訪れた俺は
子爵貴族を騙って
フィーネを指名した

——やっぱり
来ちゃったんだ？

ああ、来たよ
フィーネさんに
会いたかったから

マントの丈、全然
合ってないし
ハットもぶかぶかで

貴族ってより
どこの吟遊詩人
って感じだし

こんな馬鹿やらかして
身請け延ばしても

ひと月後には私
いなくなるのに

それでも——
後悔はしない

もう、莫迦……♡

ちゅっ……♡

んむっ……

フィーネさん
キスは——



馬鹿で、無鉄砲で
お人好しなキミに

ごほうび……
みたいなの？

ほら、キテ♡

ズ

ズ



ちよつと〜
流星に
顔見すぎ♡

顔、あつっ……♡

あつっ♡



んっ♡
んはああっ

ズ
ズ
ズ



ん、ちゅっ♡

れう、れるう♡

舌使いも手慣れてるし
キミ、実は経験豊富？

んちゅ、誰かさんの
今までの指導の
賜物だよ……っ

……あ、そうだ

どうしたのー

ズ
ズ

ズ
ズ

ちゅっ

んっ
んっ

ズ
ズ



グズ...

似合わないキザなマネ
してくれちゃって♡

グズ

グズ

なに、それ……



これ……っ

これは、変装の
ためじゃなくて

フィーネさんの
ために買ったんだ



私みたいな女に
優しくしたって
なんにもならない

報われないんだよ？

ほんとに
分かってる？

報われるとか
じゃないんだよっ

キムン

キムン

キムン

俺がフィーネさんに
贈りたいんだっ！



~~~~っ♡

ほんとキミはっ……♡

ばかあっ♡  
もう知らないっ♡

あぁん♡

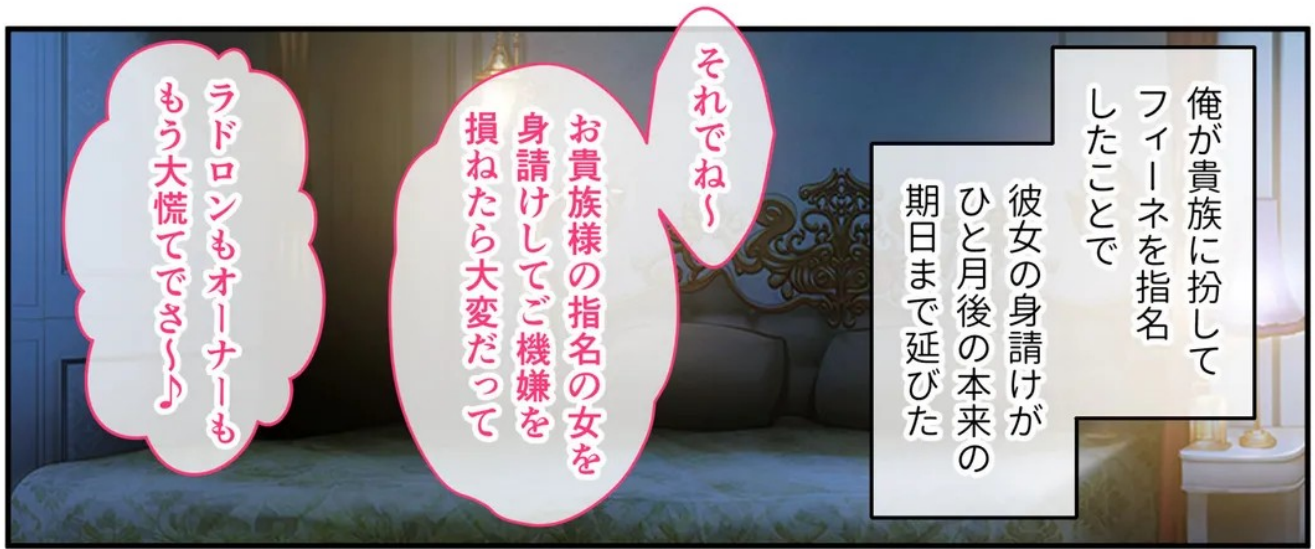
ズッ

あぁん♡

グラァン♡

はげし♡





俺が貴族に扮して  
フィーネを指名  
したことで

彼女の身請けが  
ひと月後の本来の  
期日まで延びた

それでねー

お貴族様の指名の女を  
身請けしてご機嫌を  
損ねたら大変だって

ラドロンもオーナーも  
もう大慌てでさー♪

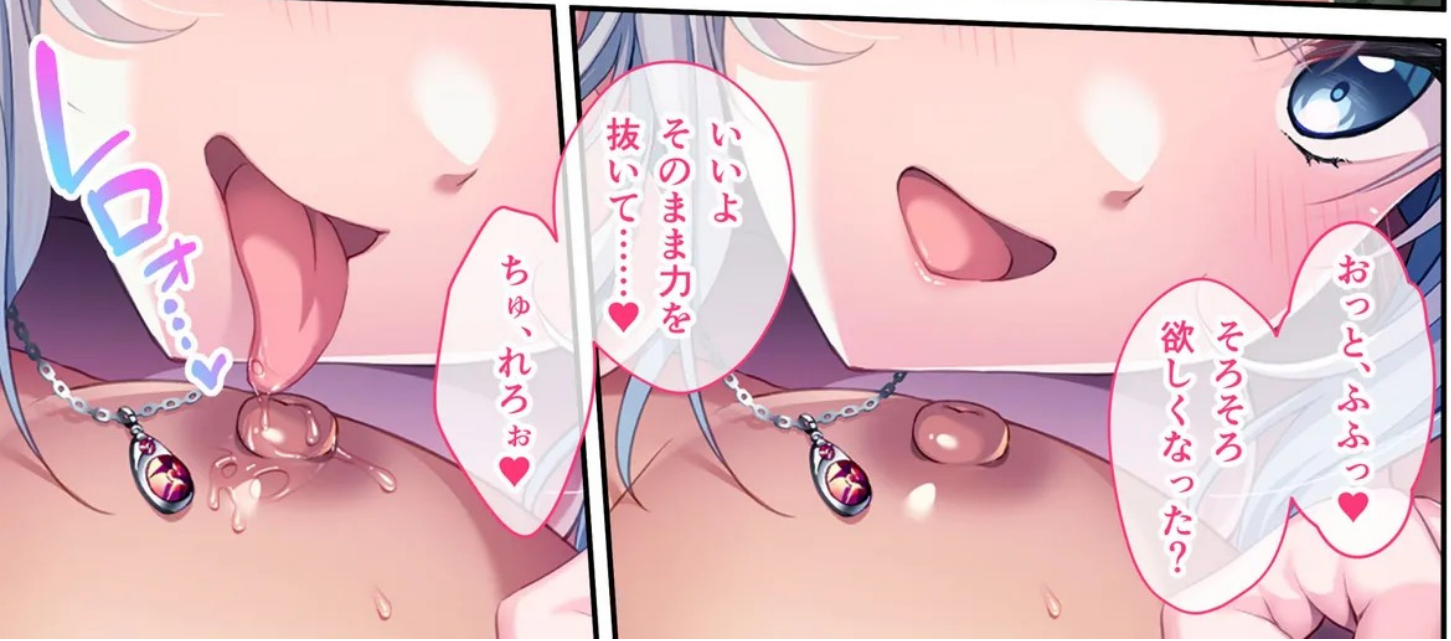


私にも急に  
へーこらしちゃって

「この前の約束を  
有効にしてやる」  
とか言っちゃってさ

ばっかみたい♪

むにゅ



おっと、ふふっ♡

そろそろ  
欲しくなった？

いいよ  
そのまま力を  
抜いて……♡

ちゅ、れろお♡

しゅわ

そういえば入り口が騒がしかったが……

まさか「お貴族様」の件でなにか――

ん？ ああランキング争いの所為かもね

上位になれば色々優遇あったりするし

みんなこの時期は特に頑張るんだよ

私は別に何がしたい訳でもないし……

そもそもしたくてもできないしね〜

……だったら

一緒に脱走するか？

そんな言葉が喉まで出かかって飲み込んだ

万が一失敗すればただでは済まないし

俺なんかと一緒に逃げ出したところで

果たして彼女を幸せにできるのか？

キミが悩む事なんてないよ

いつもみたいに気持ち良くなって？



もう出ちゃい  
そうじゃん♡



もうこんな  
張りつめてるわ  
少しの刺激で  
出しちゃいそう♪

あぁっ  
やばいって



いきけっ♡  
グランツくんの  
オスの欲望  
吐き出し  
ちゃえっ♪

にゅるん  
ぬん  
ぬん

んん



はい、お射○  
びゅくびゅくっ♪

すっごく情けない顔  
して、可愛いなあ♡

びゅるん  
とぽん♡  
とぽん♡

限られた時間というのは  
すぐにやってくるもので

延ばされたひと月は  
瞬く間に過ぎ去り

明日の朝には  
フィーネさんは  
身請けされる

その前夜である今  
娼館では「祭り」が  
開かれている

フィーネさん曰く  
ランキング争いに関わる  
最も重要な日、だそう

グランツくん  
次の「公開プレイ」

私と一緒に舞台に  
あがってね♡

こ、こんな大勢の前で  
するの？お、俺も？

きみは私のだもん  
他の誰にも  
渡したくないし♡

私達の番だよ  
さ、いくよ、おいで♪

本当に、するの？

大丈夫、いつも通り  
今を楽しもう♡

おおっバニーちゃん  
エロいケツしてるじゃ  
ねーか！



いいぞ、兄ちゃん  
思いきりイかせ  
まくってやれっ

みんなが私たちを  
見てる……どう？

こういうプレイも  
なかなか興奮する  
でしょ？

勃起してるぞー  
早く啜えてやれっ



んんっ、おおきい♥

クン

いつもより硬くて  
……凄いや♥

れろお、キミも  
舐めてよお♥

あ、ああ……っ



ぢゅるるん

れろっ♥  
れろっ♥

んふうっ!!

ま、まっへ  
んむう♥  
ひもひっ

クン

クン

んん



兄ちゃん  
負けるなよ

もっとエロい声  
聞かせてくれ!

フィーネさんも  
場の雰囲気  
酔った様子で

発情顔で俺の○棒に  
夢中になっている

ビクッ  
ビクッ  
ビクッ

ちゅっ  
ちゅっ  
ちゅっ

ぢゅるるん



今、この瞬間——っ  
フィーネさんは  
俺だけのものなんだ!

んぶっ、ぢゅるるっ  
やばっ、イグッ——

ビクッ  
ビクッ  
ビクッ  
ビクッ

れるるるるる

ちゅっ  
ちゅっ  
ちゅっ

ぢゅるるん  
ぢゅるるん  
ぢゅるるん



はぁあ、先に……  
イカされちゃった♡

はぁ♡  
はぁ♡  
はぁ♡



おおおっ、噴いたっ  
盛大に噴いたぞっ!

ニャァァァ

んんんん



ビキッ

ビキッ

ぶっとく硬く  
なってる♡

それじゃ……  
他のお客さんにも  
見せつけてあげよ?

キミがとんでもなく  
凄いオスなんだって♡

私たちの  
エッチな交尾っ  
みんなも見てえ!

アハハ



それえっ、私の中が  
抉られてえっ

だめイクッ♡

みんなの前で  
イクううッ♡



ああっ  
ああっ  
キタあ  
の

ビクッ



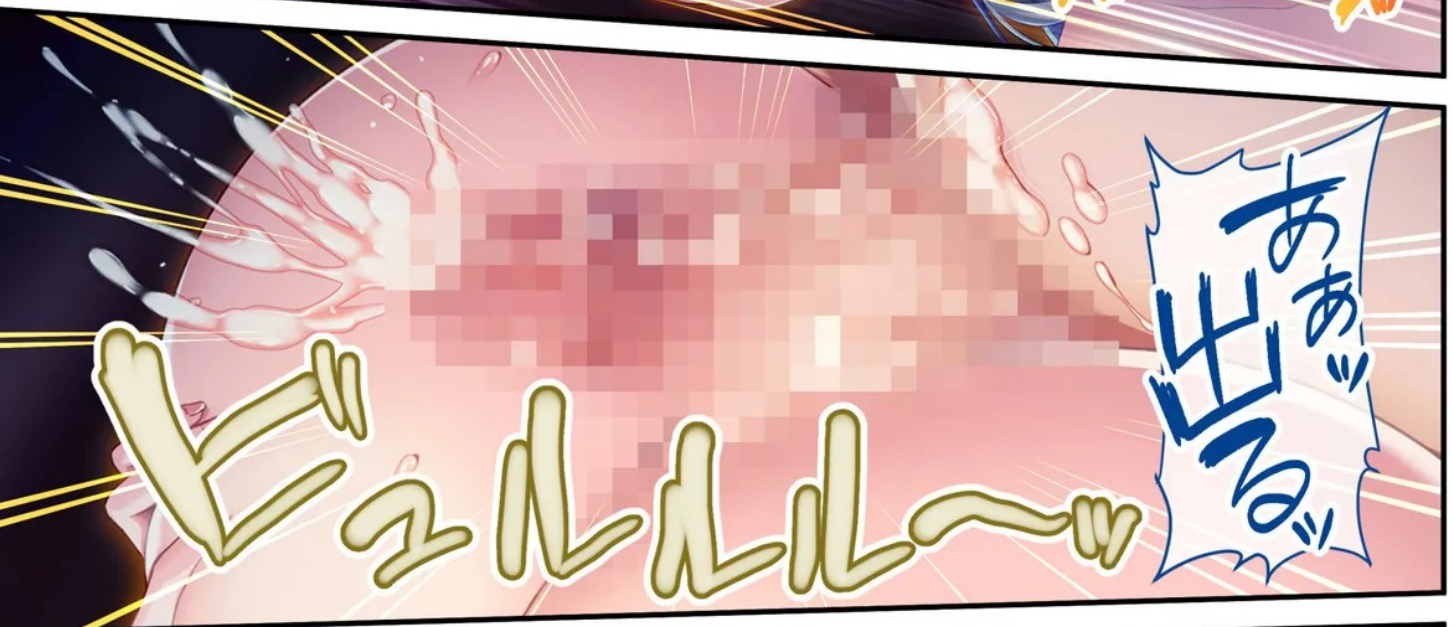
これえっ♡  
この前より凄いつ

奥に硬いのが  
ゴリゴリってえ♡

ズ  
ズ

ズ  
ズ





ステージから降りて  
俺たちは人目に  
つかない所にきた

フィーネさん  
ここから逃げよう

ラドロンも追っ手も黒服も  
誰も来ないどこか遠い所まで  
逃げて、二人で暮らそう！

……はいっ  
私をここから  
連れ出して？

俺とフィーネは  
娼館の祭りの喧騒に  
まぎれて抜け出した

身請けの前夜だし  
ラドロンも部下で  
監視させているかも

ということ、俺たちは  
ロングコートを着て  
道なき道を進んでいく

土砂降りのおかげで  
視界がわるいし足跡が  
目立たないのも幸いだ

森をしばらく歩くと  
廃墟があったので  
そこで休憩にした

フィーネさんもそろそろ  
体力がキツそうだったしな

こ、こんな所で  
するの？

ほら、もっと  
くっついてよ♡

そう、雨に打たれて  
冷えた体を温めるの♡



キミのここも  
準備万端じゃん♡

この硬あいので  
中から温めて  
ほしいなあ♡

うぐ……

それに、ふふっ

わかったよ  
挿れるぞ……

むにゅ♡



やっぱり俺は  
二人つきりで  
するのが好みだ

奇遇だね  
私も……♡



ああん  
はいっへ  
またああ♡

冷えた体に  
こんなあつっいの  
ヤケドしちゃうわ♡

グッ  
グッ  
グッ



んちゅ……っ♡

ちゅっ♡

ちゅっ♡

ちゅ♡



グランツ君  
動いていいよ♡

ふは……っ

ほへ……



こうしてると  
世界に二人きり  
みたいだね……

娼館って個室でも  
部屋の外には人の  
気配が常にあるし

でも今ここには  
私たちだけ……

アッ

アッ

アッ

むにっ

アッ



ファイネっ  
俺は君を離さない

うんっ  
……ちゅう♡







あん♥  
どうしたの？

腕を縛るなんて  
珍しいじゃん

……嫌か？

全々然っ  
っていうか

もっとキツク  
縛らないと  
解けちゃうよ

フィーネが痛いのは  
本意じゃないから

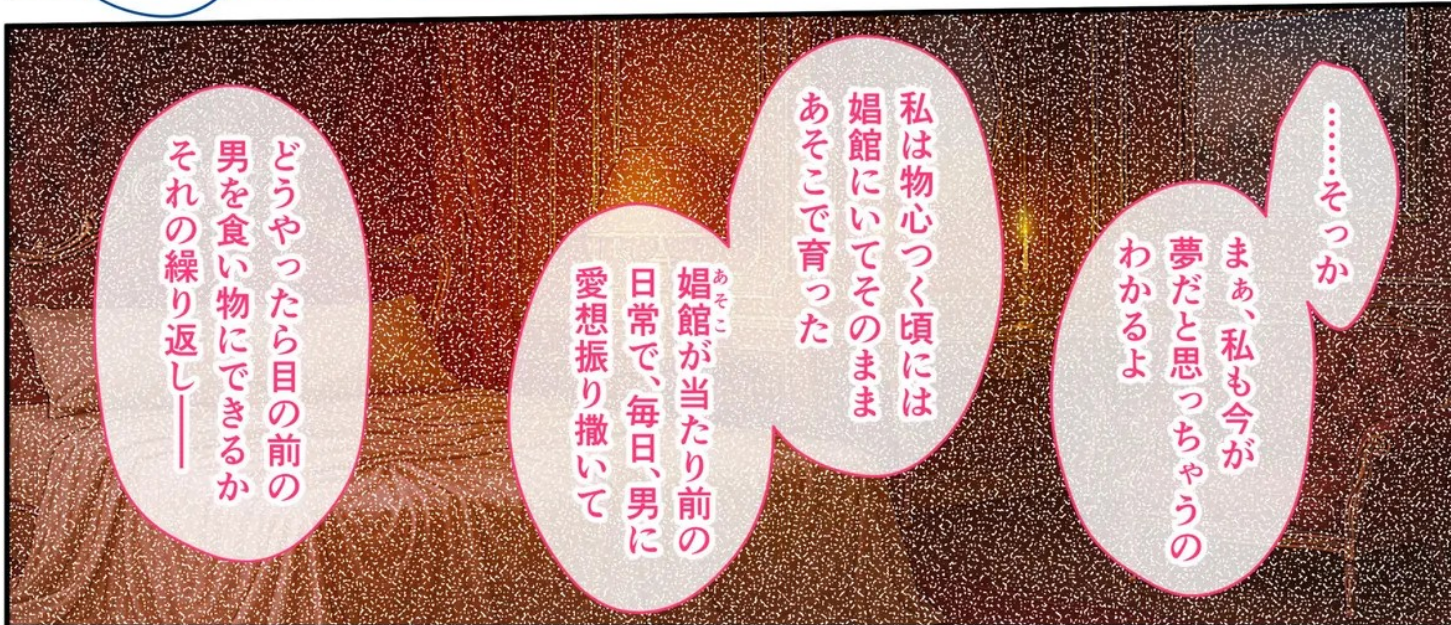


……たまに  
不安になるんだ

この日常が夢  
なんじゃないか

本当はフィーネを  
守れずに現実逃避の  
夢を見てるんじゃないか

瞬きをした瞬間  
フィーネが消える  
んじゃないかって



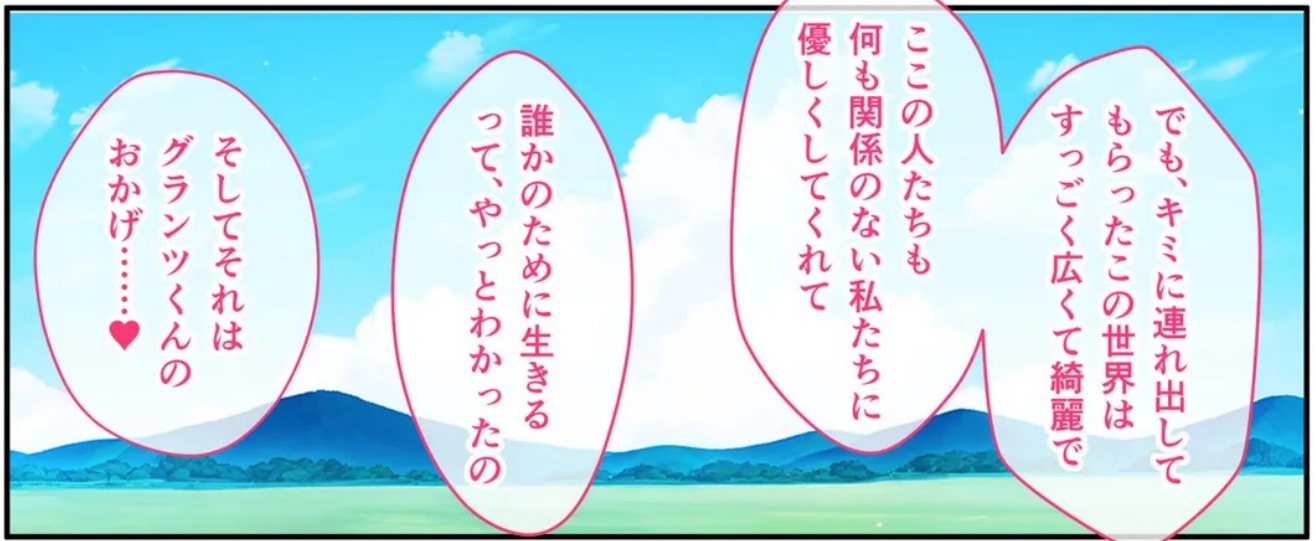
……そっか

まあ、私も今が  
夢だと思っちゃおうの  
わかるよ

私は物心つく頃には  
娼館にいてそのまま  
あそこで育った

あそこ  
娼館が当たり前の  
日常で、毎日、男に  
愛想振り撒いて

どうやったら目の前の  
男を食い物にできるか  
その繰り返し——



でも、キミに連れ出して  
もらったこの世界は  
すっごく広くて綺麗で

この人たちも  
何も関係のない私たちに  
優しくしてくれて

誰かのために生きる  
って、やっとわかったの

そしてそれは  
グランツくんのお  
かけ……♡



キミが不安なら  
もっとキミを  
感じさせて？

おっぱい揉んでっ

乳首イジって

喘がせて♡



もっとおま○こ  
ズプズプして

「私がここにいて」  
って実感をもっと  
感じて——っ

あぁあぁ

もっと  
ズプッ



あぁっファイーネっ  
もうっ出すよっ!

きてー  
グランツくん!

私の中に  
好きなだけ  
出してっ

キミさ  
めしてっ♡

ズン  
ズン  
ズン



んあ  
あ

ズン  
ズン  
ズン



ズン  
ズン  
ズン

ズン  
ズン  
ズン

ズン



……凄いで、中で  
ドクドクいってる

私はこれからずっと  
グランツくんだけの  
女だから、安心して♡

グランツくん  
愛してるよ……♡

ズン

ズン  
ズン  
ズン

ズン

おわり

大人の禁SEXY絵本

©アパタイト